

平成23年度
(第4四半期)

広貫堂グループ IR情報

株式会社 広貫堂

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面) 売上は、107億1,062万円と前年同期比100.2%、計画比95.8%でした。収益面は、呉羽工場の償却負担の増加と関係会社3社に対しての貸倒引当金を計上した結果増収減益となり営業損失10億9,009万円、経常損失7億5,091万円、当期純損失7億8,799万円となりました。

(事業運営面) 直販部門では、医薬品事業が堅調に推移し30億666万円と前年同期比105.7%、計画比104.0%となりました。その他、ヘルスケア事業の日本薬剤に対しての売上も32億4万円と前年同期比100.9%、計画比107.5%と順調に推移しました。その反面、OTC事業は3,000店舗の拠点を確保したものの1億45万円と前年同期比98.9%、計画比34.6%と大きく計画割れいたしました。当事業は弊社ナショナルブランド育成の中核であり、今後とも拡大に向けて経営資源を配分してまいります。

○ 課題への取組み

医薬品事業は新規受託も相次ぎ堅調に推移しておりますが、その生産設備への投資も拡大しております。より一層の原価低減施策を実施しながら各工場の稼働率向上をはかっております。

OTC事業においても引き続き店舗拠点作りを推し進め、ナショナルブランド育成を推進しております。

○ トピックス、適時情報

1. 2月9日NHK(Eテレ~教育)「あしたをつかめ 平成若者仕事図鑑」の中で広貫堂薬品販売富山営業所の社員が紹介されました。番組内容は、最近仕事を始めたばかりの若者が、仕事を通じてどのように成長していくかを追っていくものでした。

2. 山崎製パン株式会社と共同でカレーパンを開発し、4月1日以降中部地区にて発売しています。

○ 業績の概況 (広貫堂・単体) (第4四半期、平成23年4月~24年3月)

(千円)

| | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 |
|------|------------|------------|------------|------------|
| 売上高 | 10,369,448 | 10,308,895 | 10,690,875 | 10,710,621 |
| 経常利益 | 337,499 | 2,341 | -213,030 | -750,917 |

広貫堂グループ

○ 連結経営成績に関する定性的情報

期初に懸念された東日本大震災による消費の冷え込みは大きな影響を見せず、ヘルスケア分野ではむしろ堅調に推移し135億8,803万円と前年同期比101.0%、計画比94.9%となりました。収益面では呉羽工場の減価償却費を含む固定費の増加、販売市場での競争激化による利幅の縮小が収益の減少をまねき、4億6,756万円の経常損失となりました。

第2四半期に立ち上げた韓国、タイの海外子会社は順調に立ち上がりつつあります。来年度には香港、ベトナムへも事業展開エリアを拡大してまいります。

○ 業績の概況 (広貫堂グループ・連結) (第4四半期、平成23年4月~24年3月)

(千円)

| | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 |
|------|------------|------------|------------|------------|
| 売上高 | 13,169,947 | 12,833,129 | 13,443,477 | 13,588,073 |
| 経常利益 | 718,222 | 235,994 | -182,703 | -467,561 |

平成23年度
(第4四半期)

広貫堂グループ IR情報

グループ各社

薬都広貫堂 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面) 重点品目の100mLドリンク等は順調に推移し、新製品を11アイテム導入しましたが、既存の配置用医薬品が低迷し、売上高は35億9,064万円前年比95.6%、目標比93.2%、経常利益は5,185万円前年比85.1%目標比107.8%の減収減益で23年度を終えました。

(事業運営面) 重点品目および新発売製品のエリア別販売戦略と新ビジネスモデルを基本とする営業展開の更なる強化を目指すとともに、市場に求められる製品の開発、販売及び懸場保全に努めます。

○ トピックス、適時情報

平成23年度に新発売した製品は下記のとおりです。

- | | |
|-------------------|-------|
| 1.第2類医薬品 指定第2類医薬品 | : 3品目 |
| 2.第3類医薬品 | : 1品目 |
| 3.健康食品 化粧品等 | : 7品目 |

○ 業績の概況 (第4四半期、平成23年4月～24年3月)

(千円)

| | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 |
|------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 売上高 | 4,016,863 | 3,781,812 | 3,753,116 | 3,590,646 |
| 経常利益 | 36,270 | 140,311 | 60,920 | 51,851 |

日本薬剤 株式会社

○ 事業の概況 (事業運営、業績等の概況)

(財務面) 売上高は、平成23年度新発売した、かぜ薬、止瀉薬、カルシウム主薬製剤、胃腸薬などが寄与し、42億2,785万円となりました。また経常利益は1億679万円となりました。

(事業運営面) メディカルサポート事業部およびヘルスケア事業部では市場ニーズに応えた製品の開発を進めております。

年間を通じて順次製品を上市しています。

○ トピックス、適時情報

1.新発売(平成23年4月～平成24年3月)

かぜ薬 2アイテム、止瀉薬 2アイテム、胃腸薬 4アイテム、カルシウム主薬製剤 2アイテム、ペットボトル飲料 1アイテム

2.役員人事 平成24年4月1日付で代表取締役社長に宇多雅美が就任しました。

○ 業績の概況 (第4四半期、平成23年4月～24年3月)

(千円)

| | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 |
|------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 売上高 | 2,879,049 | 3,400,150 | 3,974,134 | 4,227,858 |
| 経常利益 | 46,331 | 98,711 | 82,347 | 106,782 |

平成23年度
(第4四半期)

広貫堂グループ IR情報

グループ各社

廣貫堂産業 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面) 売上高は、1億3,157万円(前年同期比428万円の減)、売上総利益は8,767万円となりました。また販管費は7,002万円(前年同期比2,262万円の減)となりました。その結果、経常利益は2,272万円(前年同期比1,806万円の増)となりました。

(事業運営面) 「懸場物語Jr」を3法人、「懸場物語プロ」を3法人に納品を行い、問題なく運用され顧客満足を得ています。また、販社様からはシステム説明の訪問依頼等が多数あり、更なる機能強化と顧客満足のいただけるシステムとなるように日々努めています。

○ トピックス、適時情報

1.弊社は、平成24年4月1日を以て株式会社廣貫堂に事業の全てを譲渡することとなりました。また、事業は株式会社廣貫堂(経営戦略室)が引き継ぐこととなります。
2.取締役全員3名は平成24年3月31日を以て辞任に伴い、平成24年3月9日に臨時株主総会が開催され、取締役3名高岡隆志、稲場豊、但中秀隆が選任され、それぞれ就任いたしました。

○ 業績の概況 (第4四半期、平成23年4月～24年3月)

(千円)

| | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 |
|------|---------|---------|---------|---------|
| 売上高 | 164,378 | 102,944 | 135,853 | 131,571 |
| 経常利益 | 6,504 | -18,294 | 4,659 | 22,721 |

広貫堂メディアース 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面) 平成23年度は新規開発商品並びに既存商品の販促強化に努めましたが、健康飲料系の不振や一部商品の大幅な売上減により、7,095万円の減(前年比76.4%)となりました。また、経常損益は、価格競争への対応の結果や売上の落ち込みに伴い、2,240万円の減少となりました。

(事業運営面) 平成24年度に向けての新商品開発並びにエリア担当の再編や流通チャネルの開拓を行っております。

○ トピックス、適時情報

1.食品の業界最大の展示会であるスーパーマーケット・トレードショー(東京ビックサイト)に出店、参加いたしました。(期間平成24年2月1日～2月3日)
2.首都圏並びに県内外の展示会及び商談会に参加し新商品の拡売、販促につとめました。

○ 業績の概況 (第4四半期、平成23年4月～24年3月)

(千円)

| | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 |
|------|---------|---------|---------|---------|
| 売上高 | 478,991 | 318,951 | 300,921 | 229,964 |
| 経常利益 | 4,112 | -68,902 | -10,591 | -34,659 |

平成23年度
(第4四半期)

広貫堂グループ IR情報

グループ各社

広貫堂薬品販売 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面) 平成23年度(4月～3月)販売面では前年実績19億104万円に対し19億3,733万円、前年同期比101.9%、利益面では前年同期-6,067万円に対し、-9,238万円で推移しました。仙台地区、既存営業所新懸け買い台帳等、投資の増加、売上の低迷が起因しているものと思われます。

(事業運営面) 平成24年3月より全国の営業所を7エリアに分け、プレイング・マネージャーの中から担当部長を7名選任し平成24年度より新体制で臨みます。又、新部門として人財開発、市場開発部門を設けました。

○ トピックス、適時情報

1. 平成24年2月より浜松営業所を新規開設

○ 業績の概況 (第4四半期、平成23年4月～24年3月)

(千円)

| | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 |
|------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 売上高 | 1,801,589 | 1,828,424 | 1,901,045 | 1,937,336 |
| 経常利益 | 14,945 | 4,413 | -60,670 | -92,382 |

トキワ広貫堂 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面) 平成23年度第4四半期は、営業経費の細目ごとの見直し、人件費制度改革による変動費化が寄与し大幅なコスト改善が図られました。販売管理費は2億3,894万円(前期同期比3,646万円の減)となりました。

(事業運営面) 平成23年度1月に「課題が見える運用」を行う為に組織改革を行いました。それにより方針の徹底及び周知がよりスムーズに行えるようになりました。又平成24年度に向けての早期の戦力化を念頭に階層別研修、ハイブリッド研修、新人研修など人財育成に力を注いでいます。

○ トピックス、適時情報

1. 23年度2月に経常利益13.5%、利益額366万円達成

2. 社員ニーズに応じた新給与の実施平成23年度2月支給分からの実施

○ 業績の概況 (第4四半期、平成23年4月～24年3月)

(千円)

| | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 |
|------|---------|---------|---------|---------|
| 売上高 | 371,795 | 382,312 | 344,908 | 272,725 |
| 経常利益 | -9,601 | 4,280 | -30,177 | -47,930 |